
第6回

六番町駅アスベスト飛散にかかる 健康対策等検討会

平成28年3月25日開催

- ・ 六番町駅アスベスト拡散シミュレーション解析条件の整理
- ・ 第5回検討会の意見への回答
- ・ 健康影響評価の方法について
- ・ 構成員意見の聴取

第5回検討会で報告した解析条件

資料 39

解析ソフトウェア		解析コード	汎用流体解析ソフト FLUENT (フルーエント) 15.0.7 圧力ベース陰解法による非定常計算		
		固体-気体の混相流解析	オイラー混相流モデルを使用		
項目		考え方	入力値		
物性値	空気	密度	空気は一般空気を想定し、 常温・常圧 (15[°C]、0.1[MPa]) での値	1.225[kg/m ³]	
		粘性係数		1.789×10^{-5} [kg/m·s]	
	アスベスト繊維	石綿の種類	-	クロシドライト	
		密度	-	3.37[g/cm ³]	
		繊維の長さ	事故発生時 (平成25年12月12日) に計測された アスベスト繊維の長さの算術平均値	12.7[μm]	
		繊維の直径	クロシドライトの直径 φ0.04~φ0.15の中間値	0.095[μm]	
空気条件	風向・風速	平成27年1月26日(月)~29日(木) 六番町駅構内10か所にて測定した値	-		
アスベスト発生条件	発生位置		換気機械室扉のガラリ	(風速5.0m/s)	
	ガラリからの 仮定	アスベスト除去中 負圧装置稼働	青榨領域の断面平均値が30分 (12/12 8:30~9:00) で 1,100本/Lとなる値	4,419.5[本/L]	
		作業休止中 負圧装置稼働			青榨領域の断面平均値が5時間50分 (12/13 10:10~16:00) で 作業停止時の状態から 110本/Lとなる値
		作業休止中 負圧装置休止中			
仮定III	12日18:00~翌8:30		21.0[本/L]		
トイレ系統排风量		トイレ排風機の定格風量	4,150[m ³ /H]		
機械室扉前での 濃度測定結果		12日 9:15~10:15	総繊維数濃度 アスベスト濃度	1,100[本/L] 700[本/L]	
		13日15:10~16:03	総繊維数濃度 アスベスト濃度	110[本/L] 100[本/L]	

アスベスト物性値（長さ・直径）の調査結果

資料 40

調査概要	アスベスト繊維の長さ、直径及び種類の測定を行うもの	
試料	平成 25 年 12 月 12 日換気機械室扉の前で アスベストを検出したフィルター	
対象繊維	長さ	5 μm 以上 幅（直径）0.2 μm 以上で 長さとの比（アスペクト比）が 3 : 1 以上
視野範囲の面積	0.0087 mm^2	
試験方法	10 視野（繊維計数：40 本 倍率：1000 倍） 長さ・直径は、観測された 40 本のアスベスト繊維を 実測可能な大きさまで拡大（4000～10000 倍）し計測した	
測定機関	ユーロフィン環境総合研究機構株式会社	
分析使用機器	走査電子顕微鏡（SEM） 蛍光 X 線分析装置（EDX） 日本電子製 JCM-5700	

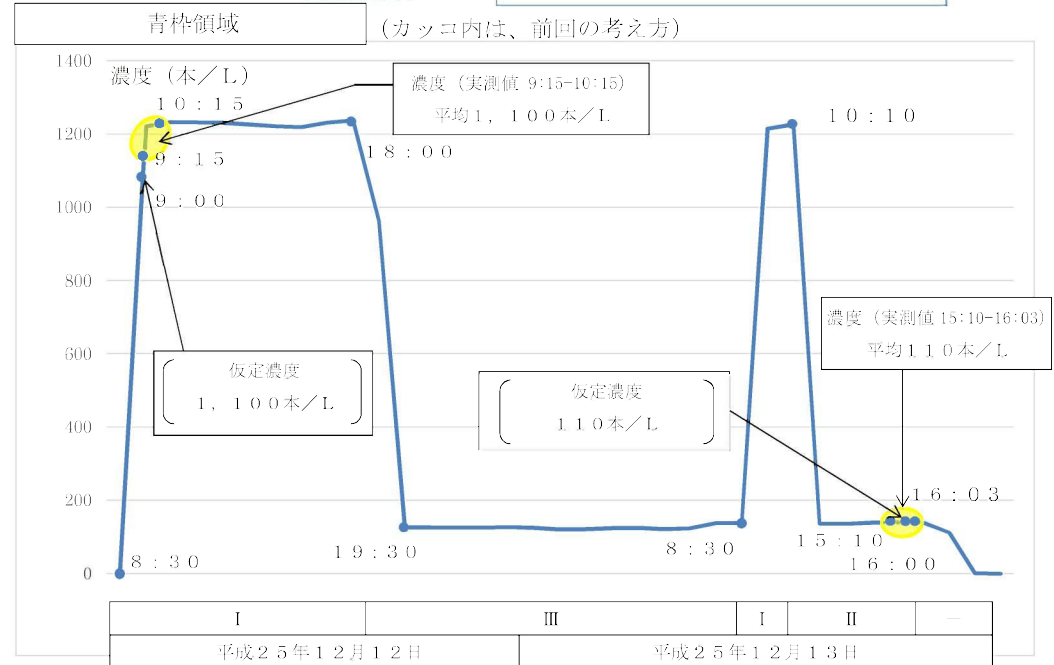
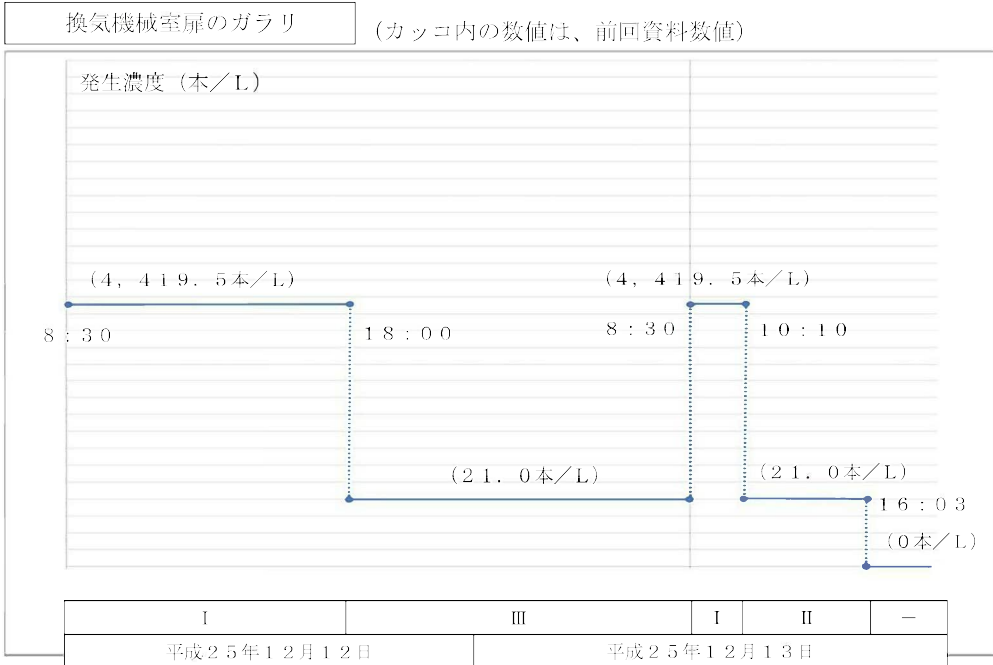
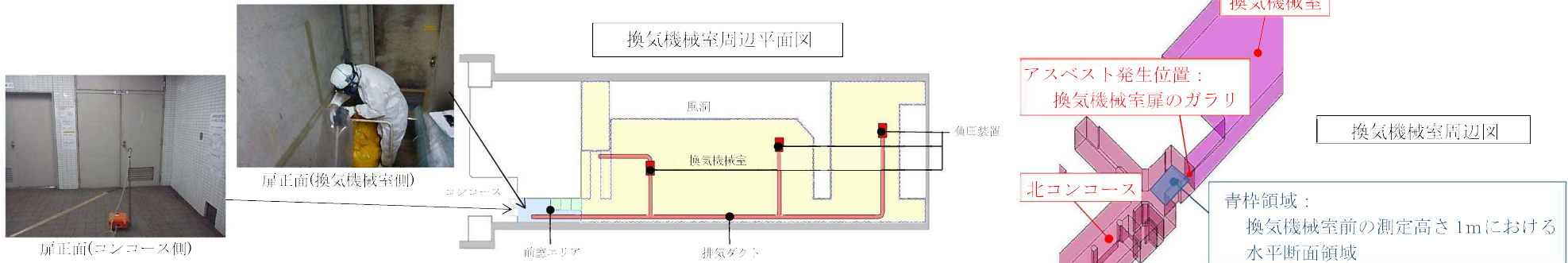
	最小値	最大値	算術平均	幾何平均	標準偏差
長さ (μm)	9.65	34.57	17.9	16.9	6.2
直径 (μm)	0.31	1.78	0.8	0.7	0.3
種類	すべてクロシドライト				

アスベストの発生条件・仮定発生濃度

作業時間	作業状況		分類	
	アスベスト除去	負圧装置		
平成25年12月12日(木)	8:30~18:00	○	○	I
	18:00~	×	×	III
平成25年12月13日(金)	~ 8:30	×	×	III
	8:30~10:10	○	○	I
	10:10~16:03	×	○	II

分類	作業時間	作業状況	
		アスベスト除去	負圧装置
I	12月12日(木) 8:30~18:00	○	○
	12月13日(金) 8:30~10:10	○	○
II	12月13日(金) 10:10~16:03	×	○
III	12月12日(木) 18:00~翌8:30	×	×

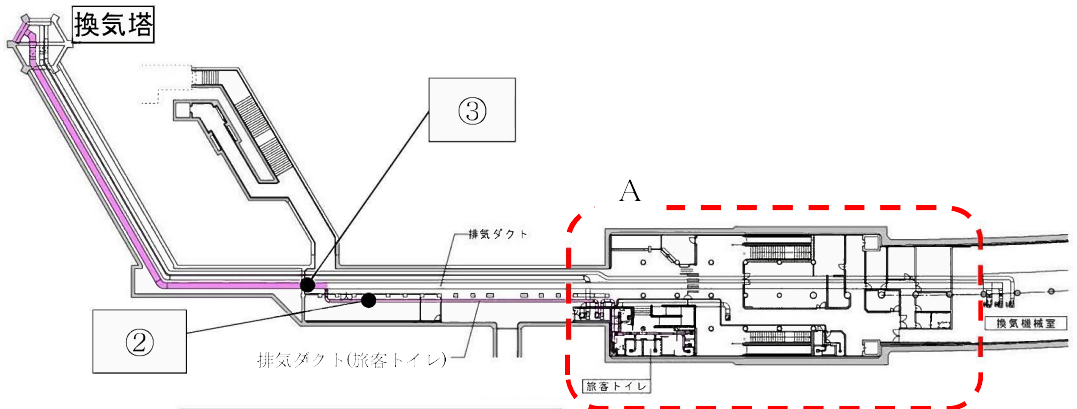
※アスベスト除去欄の○は、除去中。負圧装置欄の○は稼働中を示す。



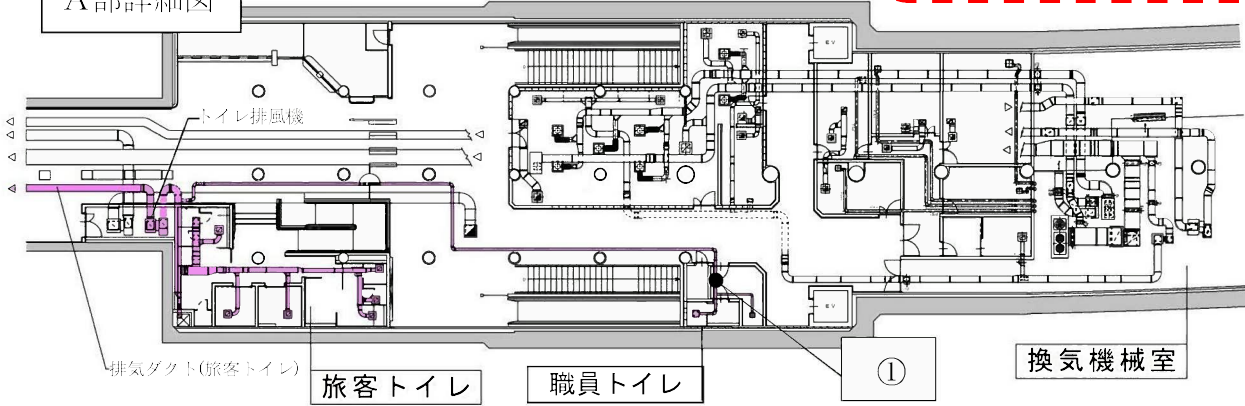
トイレ系統排風量の調査結果

調査概要	排気ダクト内の風速を測定し、トイレ系統の排風量を確認するもの
調査条件	トイレ排風機以外の換気装置を全て停止し、事故当時と同じ状況
実施日	平成27年12月17日(木)
測定時間帯	(1) 大宝町換気所・六番町換気所 非稼働時 9時～12時 (2) 大宝町換気所・六番町換気所 稼働時 13時～14時 (3) 大宝町換気所稼働時 14時～17時 (4) 営業時間外 24時30分以降
測定点	3箇所
測定機器	アネモメーター 型式 VS-001EXS (アイ電子技研)

地下1階平面図



A部詳細図



調査結果

	断面積 (m^2)	風速 (m/s)					(平均) 排風量 (m^3/h)	
		測定値					測定値	前回シミュレーション風量
		(1)	(2)	(3)	(4)	平均		
①	0.04	3.40	3.43	3.43	3.43	3.42	500 m^3/h	(750 m^3/h)
②	0.20	6.58	6.77	6.61	6.12	6.52	4,700 m^3/h	(4,150 m^3/h)
③	0.72	1.57	1.48	1.57	1.57	1.55	4,000 m^3/h	

整理した解析条件

資料 4 3

解析ソフトウェア	解析コード	汎用流体解析ソフト FLUENT (フルーエント) 16.2 圧力ベース陰解法による非定常計算
	固体-気体の混相流解析	オイラー混相流モデルを使用

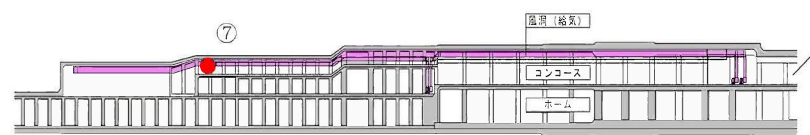
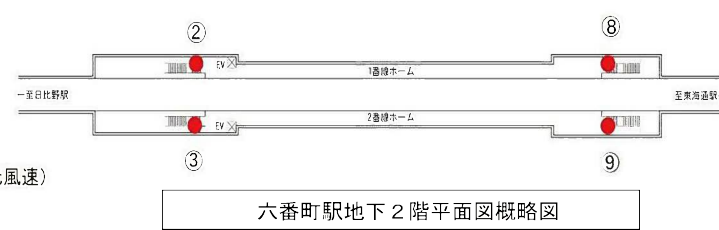
項目		考え方	入力値	
物性値	空気	密度	1.225[kg/m ³]	
		粘性係数	1.789×10 ⁻⁵ [kg/m・s]	
	アスベスト繊維	石綿の種類	-	クロシドライト
		密度	-	3.37[g/cm ³]
		繊維の長さ	事故発生時(平成25年12月12日)に計測されたアスベスト繊維の長さの算術平均値 資料40の幾何平均値	16.9[μm] 12.7[μm]
繊維の直径	クロシドライトの直径 φ0.04~φ0.15 の中間値	0.7[μm] 0.095[μm]		
入空気条件	風向・風速	平成27年1月26日(月)~29日(木) 六番町駅構内10か所にて測定した値	-	
アスベスト発生条件	発生位置		換気機械室扉のガラリ (次回算出) 風速5.0[m/s]	
	ガラリからの仮定	仮定Ⅰ アスベスト除去中 負圧装置稼働 12日 8:30~18:00 13日 8:30~10:10	45 30分 青枠領域の断面平均値が 15 (12/12 8:30~9:00)で 1,100本/Lとなる値 (次回算出) 4,419.5[本/L]	
		仮定Ⅱ 作業休止中 負圧装置稼働 13日10:10~16:03	53 50分 青枠領域の断面平均値が 03 (12/13 10:10~16:00)で 110本/Lとなる値 (次回算出) 21.0[本/L]	
		仮定Ⅲ 作業休止中 負圧装置休止中 12日18:00~翌8:30	Ⅱの値 (次回算出) 21.0[本/L]	
トイレ系統排风量		測定 トイレ排風機の定格风量	① 500[m ³ /h] ②4,700[m ³ /h] ③4,000[m ³ /h] 4,150[m ³ /h]	
機械室扉前での濃度測定結果		12日 9:15~10:15	総繊維数濃度 アスベスト濃度 1,100[本/L] 700[本/L]	
		13日 15:10~16:03	総繊維数濃度 アスベスト濃度 110[本/L] 100[本/L]	

翌年同時期の駅構内・外気の温度データ

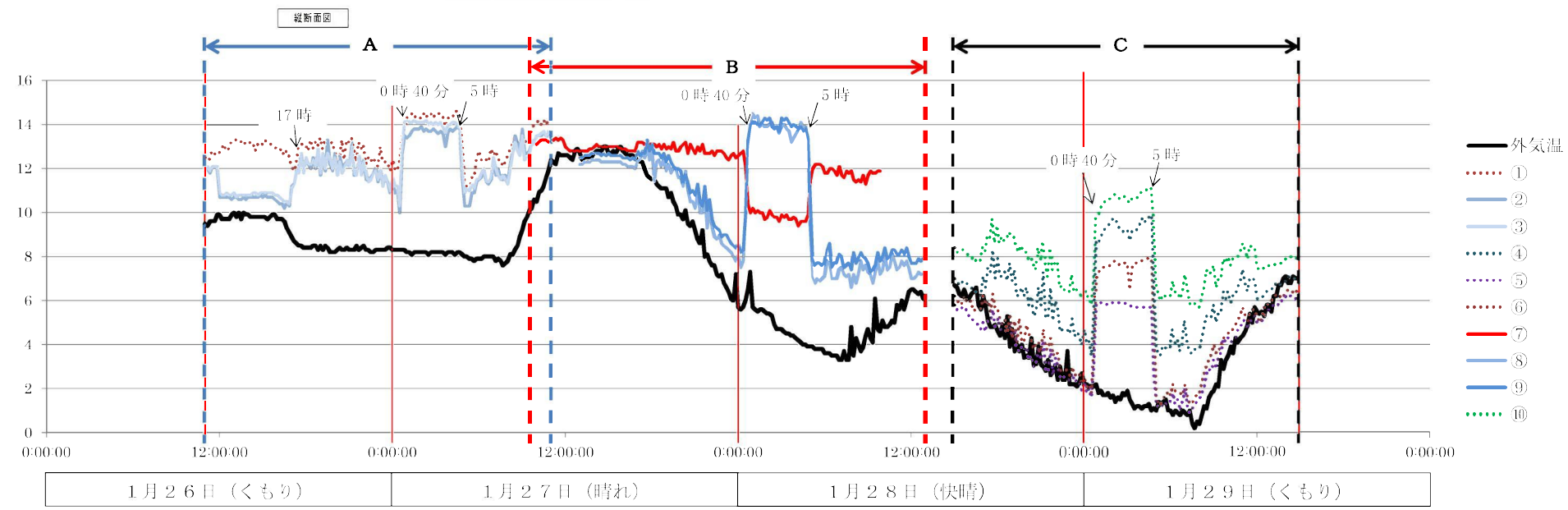
駅構内10か所と1番出入口近傍にて温度測定(平成27年1月26日～29日)

資料 4 4

測定時間		場所
A	1月26日11:00～1月27日11:00	①換気機械室前
		②ホーム階段
		③ホーム階段
B	1月27日10:00～1月28日10:00	⑦給排気路
	1月27日13:00～1月28日13:00	⑧ホーム階段
		⑨ホーム階段
C	1月28日15:00～1月29日15:00	④コンコース
		⑤4番出入口
		⑥1番出入口
		⑩トイレ出入口
		⑪外気温
1月26日11:00～1月29日15:00		

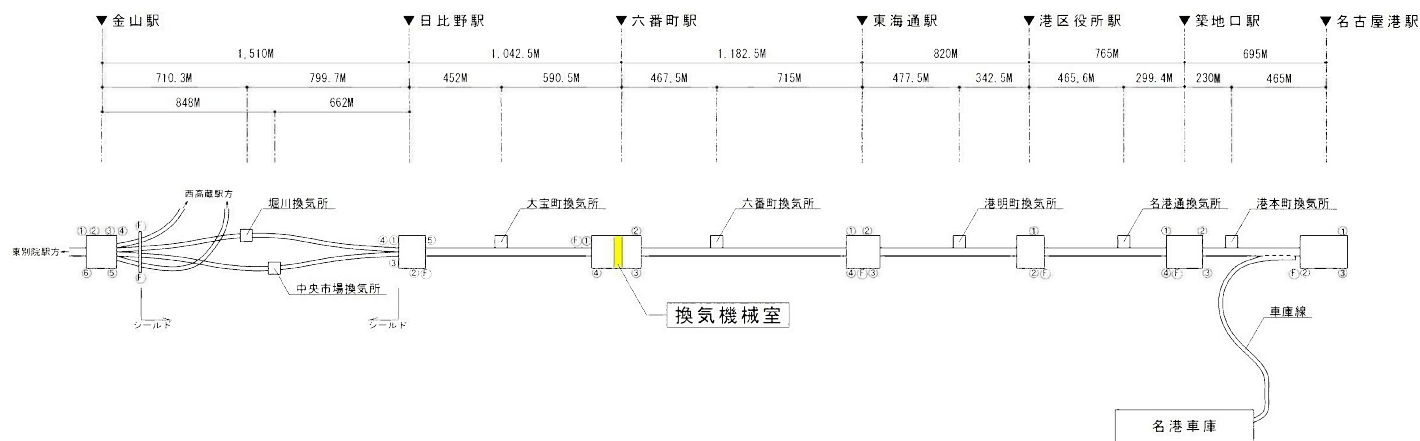


凡例
 ● : 24時間調査地点 (3次元風速)
 ■ : 外気温調査地点

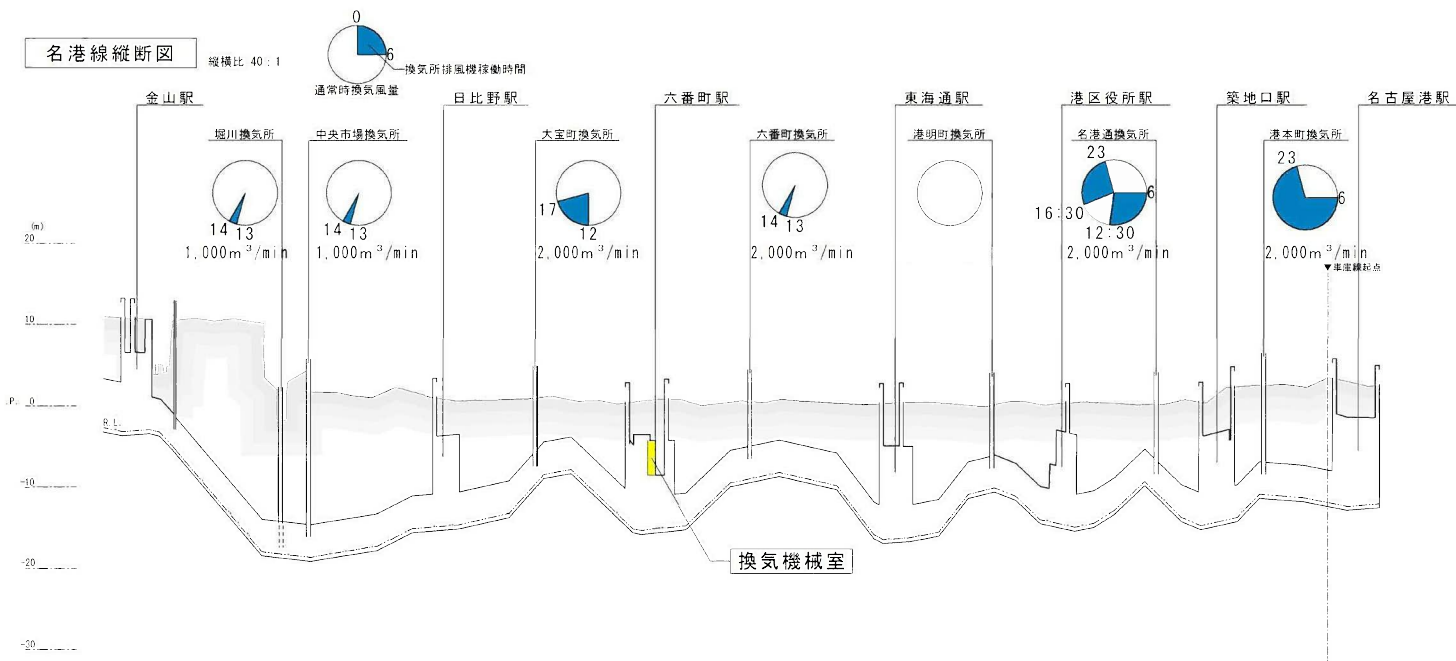


名港線トンネル構造

名港線路線図 ①～⑥：駅出入口
F：換気口



名港線縦断面図 縦横比 40 : 1

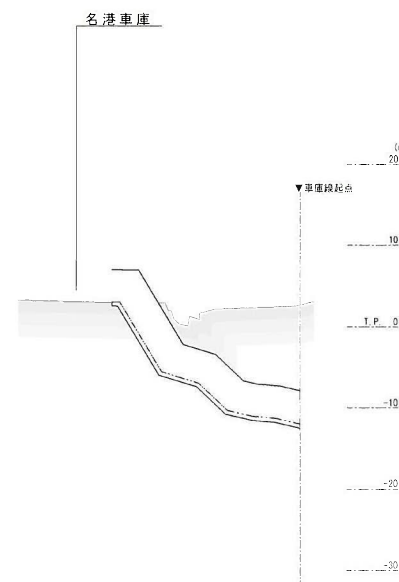


名港線換気システム

施設名	運転方法	運転時間 (冬季)	備考
堀川換気所	タイマー	13:00~14:00	排気
中央市場換気所	タイマー	13:00~14:00	排気
大塚町換気所	タイマー	12:00~17:00	排気
六番町換気所	手動	13:00~14:00	排気
港明町換気所	手動	停止	排気
名港通換気所	手動	6:00~12:30 16:30~23:00	排気
港本町換気所	手動	6:00~23:00	排気

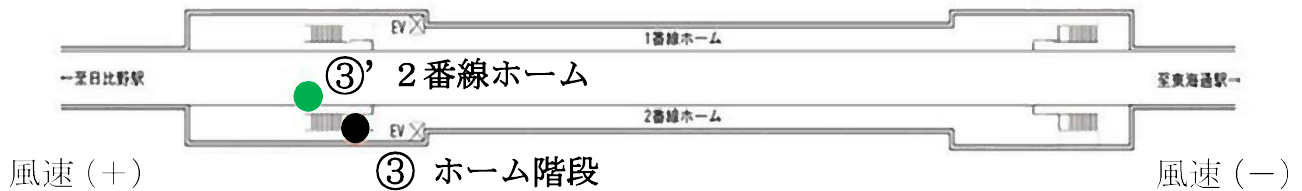
※駅の給気は冬季期間停止

車庫線縦断面図 縦横比 40 : 1

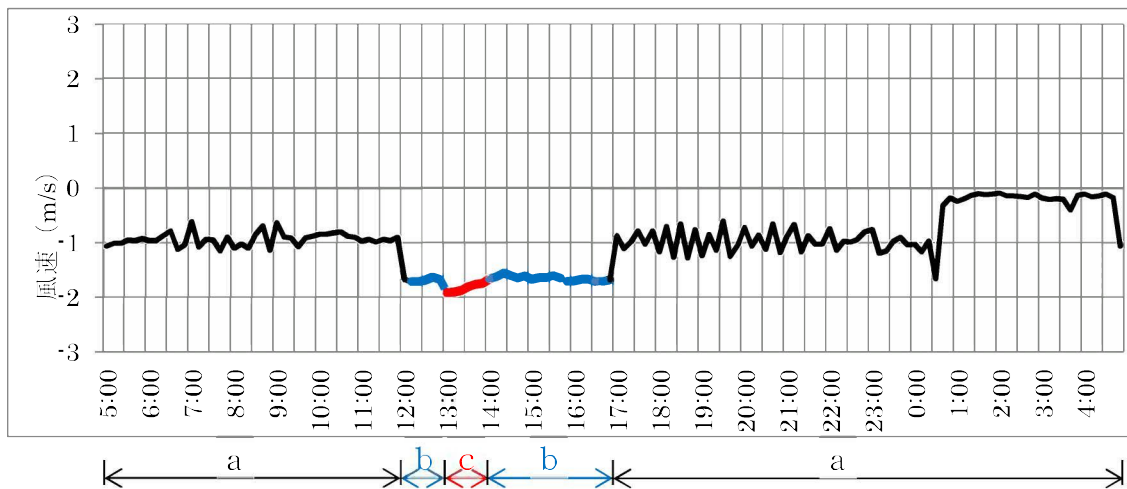


中間換気所による空気変動について

1 調査地点(六番町駅地下2階平面図 概略図)

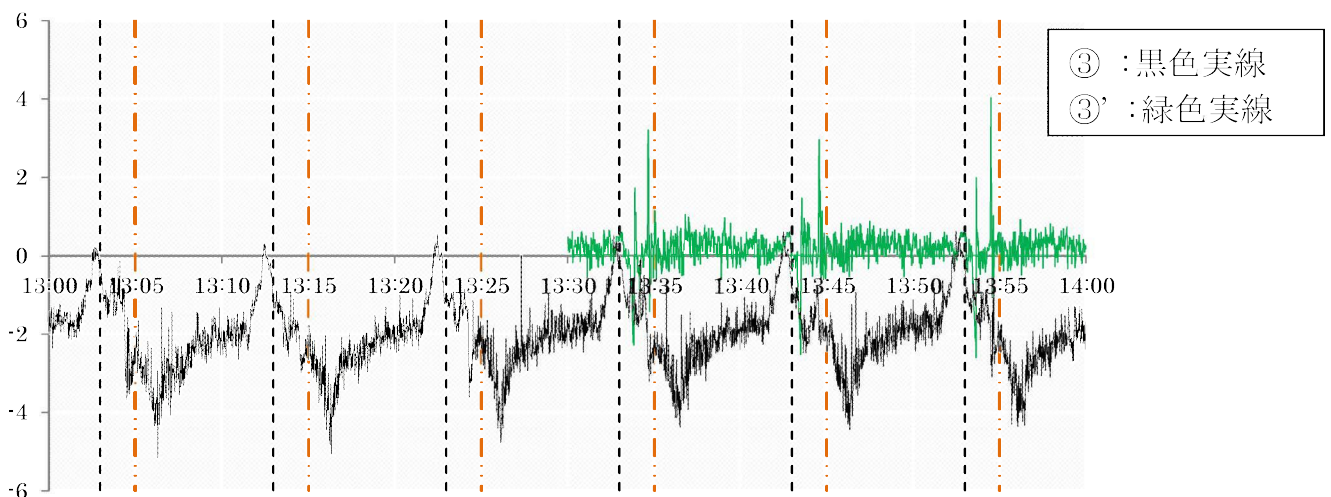


2 10分間平均値の経時変化図 (風速) 調査地点③



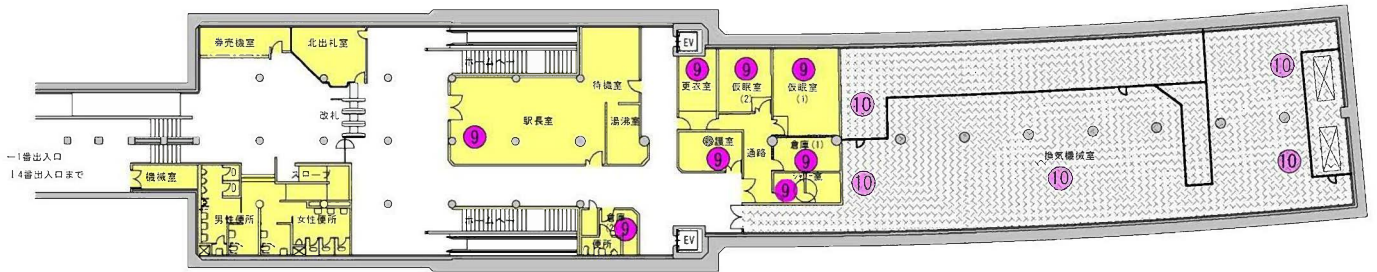
a : 換気所非稼働時
 b : 大宝町換気所稼働時
 c : 大宝町・六番町換気所稼働時

3 瞬時値 (1秒ごとの風速) 調査地点③、③' (13時00分~14時00分)

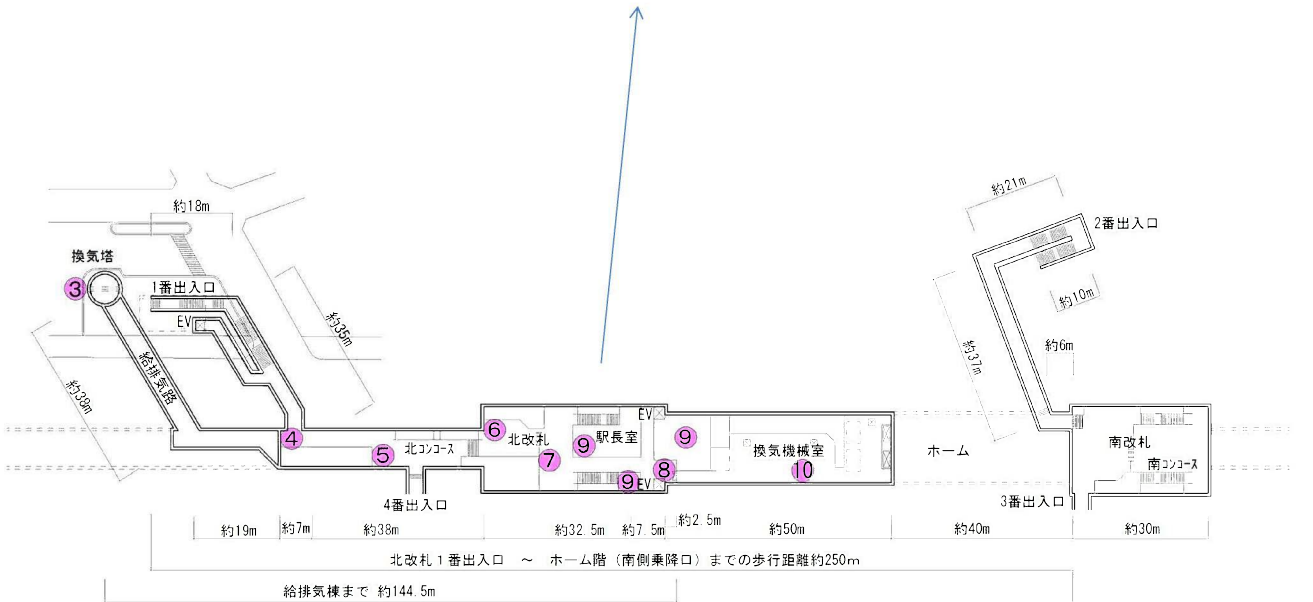


※ ③の風速のマイナス (-) はホーム側への流入を示す
 ③'の風速のプラス (+) は日比野駅側 (大宝町換気所) への流入を示す
 ※ 列車ダイヤ ----- 金山方面 (13時03, 13, 23, 33, 43, 53分)
 - - - - - 名古屋港方面 (13時05, 15, 25, 35, 45, 55分)

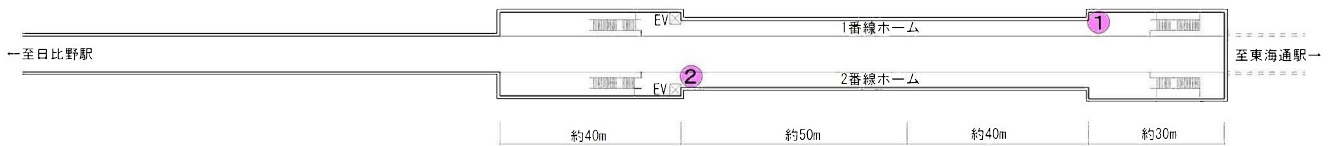
総繊維数濃度・アスベスト濃度測定結果一覧



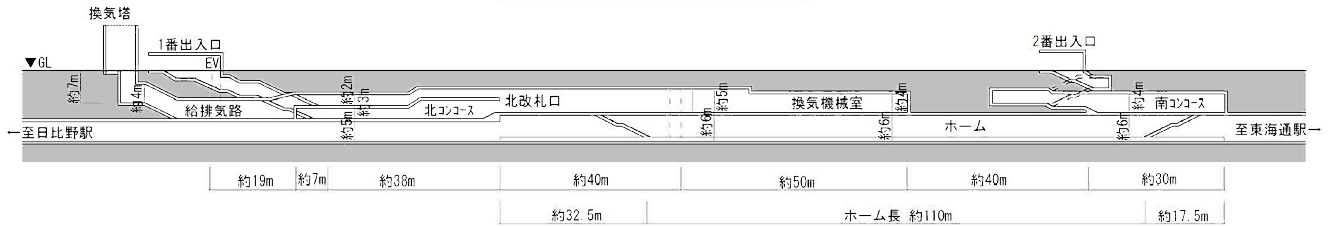
駅長室付近平面図



六番町駅地下1階平面概略図



六番町駅地下2階平面概略図



六番町駅断面概略図

総繊維数濃度・アスベスト濃度測定結果一覧

欄中の数値はアスベスト濃度を示す。但し（ ）内は総繊維数濃度を示す。
 [] は、アスベスト濃度の分析を実施したものを示す。

単位 (本/L)

事 項		測定値等										測定者 ※4 検出下限値	負圧装 置稼働 帯※3	
		1番 ホーム	2番 ホーム	換気塔	1番 通路	北コ ンコ ース	北コ ンコ ース	北改 札内	機械室 扉前	仮眠 室等 諸室	換気 機械 室			
月 日	時刻	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
平成 25 年 12 月 9 日～ 作業前		—	—	0.5 未満	—	—	—	—	0.5 未満	—	0.5 未満 6 か所	施工業者 0.5		
12 月 12 日	8 : 30～	負圧装置運転開始											港保健所 1.0 (0.22)	↑ ↓
	9 : 15～10 : 15	—	—	2.5 (4.0)	—	—	—	—	700 (1,100)	—	—			
	～18 : 00	負圧装置運転停止												
	18 : 00～8 : 30	負圧装置運転停止期間												
12 月 13 日	8 : 30～	負圧装置運転開始											港保健所 1.0 (0.22)	↑ ↓
	15 : 10～16 : 03	—	—	—	—	—	—	—	100 (110) ※5	—	—			
	15 : 05～16 : 05	—	—	(0.22)	—	—	—	—	—	—	—			
	～15 : 50 頃	負圧装置運転停止												
	16 : 05～17 : 05	—	—	—	—	—	—	—	4.0 (6.5)	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
	16 : 10～17 : 10	—	—	(0.22 未満)	—	—	—	—	—	—	—			
18 : 30～19 : 30	—	—	—	(0.5 未満)	(0.5 未満)	(0.5 未満)	(0.5 未満)	(0.5 未満)	—	—	施工業者 0.5			
12 月 16 日	9 : 45～10 : 45	—	—	(0.22 未満)	—	—	—	—	—	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
12 月 24 日	9 : 50～10 : 50	—	—	(0.22)	—	—	—	—	(0.22)	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
	9 : 40～10 : 40	—	—	—	—	—	—	—	(0.22 未満)	—	—			
平成 26 年 1 月 9 日	16 : 10～17 : 10	—	—	(0.22 未満)	—	—	—	—	—	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
	16 : 20～17 : 20	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—			
1 月 22 日	13 : 20～14 : 20	—	—	(0.22)	—	—	—	—	—	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
	13 : 25～14 : 25	—	—	—	—	—	—	—	(0.22 未満)	—	—			
	14 : 30～15 : 30	—	1.0 未満 (0.67)	—	—	—	—	—	—	—	—			
2 月 5 日	13 : 23～14 : 23	—	—	(0.22)	—	—	—	—	—	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
	13 : 29～14 : 29	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—			
2 月 6 日	21 : 06～23 : 06 等	—	—	—	—	—	—	—	—	0.5 未満 8 か所	—	交通局※ 1 0.5		
2 月 19 日	13 : 40～14 : 40	—	—	1.0 未満 (0.67)	—	—	—	—	—	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
	13 : 50～14 : 50	—	—	—	—	—	—	—	1.0 未満 (0.45)	—	—			
3 月 7 日	21 : 18～23 : 18	—	—	—	—	—	—	—	(0.5 未満)	—	—	交通局※ 2 0.5		
3 月 8 日	2 : 38～3 : 38	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
3 月 11 日	0 : 54～4 : 08 等	—	(1.5 未満)	(0.5 未満)	—	—	—	(0.5 未満)	—	—	—			
3 月 13 日	18 : 05～20 : 05	—	—	—	—	—	—	—	(0.5 未満)	—	—			
3 月 21 日	1 : 07～4 : 08 等	—	(0.5 未満)	(0.5 未満)	—	—	—	(0.5 未満)	—	—	—	港保健所※ 6 0.50 (0.22)		
4 月 16 日	9 : 55～10 : 55	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—			
	11 : 00～12 : 00	—	—	0.50 未満 (0.45)	—	—	—	—	—	—	—			
5 月 20 日	9 : 26～10 : 26	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—		港保健所 1.0 (0.22)	
	9 : 24～10 : 24	—	—	(0.22 未満)	—	—	—	—	—	—	—			
6 月 17 日	10 : 00～11 : 00	—	—	—	—	—	—	—	0.50 未満 (0.45)	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
	10 : 15～11 : 15	—	—	(0.22 未満)	—	—	—	—	—	—	—			
7 月 16 日	9 : 57～10 : 57	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—	港保健所 1.0 (0.22)		
	10 : 03～11 : 03	—	—	(0.22)	—	—	—	—	—	—	—			
7 月 19 日	1 : 33～3 : 26 等	—	(0.5 未満)	(0.5 未満)	—	—	—	(0.5 未満)	—	—	—	交通局※ 7 0.5		
8 月 13 日	10 : 00～11 : 00	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—	港保健所 (0.22)		
	9 : 55～10 : 55	—	—	(0.22 未満)	—	—	—	—	—	—	—			
9 月 19 日	1 : 18～4 : 36 等	—	(0.5 未満)	(0.5 未満)	—	—	—	(0.5 未満)	—	—	—	交通局※ 8 0.5		

事 項		測定値等										測定者 ※4 検出下限値	負圧装 置稼働 帯※3	
		1番 ホーム	2番 ホーム	換気塔	1番 通路	北コ ンコ ース	北コ ンコ ース	北改 札内	機械室 扉前	仮眠 室等 諸室	換気 機械 室			
月 日	時刻	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
9月19日	10:23~11:23	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—	港保健所 (0.22)		
	10:19~11:19	—	—	(0.22)	—	—	—	—	—	—	—			
9月20日	1:04~4:32等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—	交通局※8 0.5		
9月21日	1:04~4:32等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—	交通局※8 0.5		
10月21日	10:07~11:07	—	—	—	—	—	—	—	0.50未満 (0.45)	—	—	港保健所 0.50 (0.22)		
	10:00~11:00	—	—	(0.22未満)	—	—	—	—	—	—	—			
10月30日	0:50~3:52	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—	交通局 0.5		
11月21日	9:37~10:37	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—	港保健所 (0.22)		
	9:30~10:30	—	—	(0.22)	—	—	—	—	—	—	—			
12月16日	9:45~10:45	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—	港保健所 (0.22)		
	9:40~10:40	—	—	(0.22未満)	—	—	—	—	—	—	—			
平成27年 1月22日	9:40~10:40	—	—	—	—	—	—	—	(0.22未満)	—	—	港保健所 (0.22)		
	9:35~10:35	—	—	(0.22)	—	—	—	—	—	—	—			
2月 8日	2:30~3:30	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—	港保健所 (0.22)		
	2:32~3:32	—	—	(0.22)	—	—	—	—	—	—	—			
2月 3日	1:38~4:55等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—	交通局※9 0.5		
2月 4日	1:04~3:50等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—			
2月 5日	1:01~4:13等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—			
2月 7日	0:59~4:00等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—			
2月11日	0:53~4:28等	—	—	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—			
2月12日	1:01~3:31等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—			
2月13日	1:13~4:01等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—			
2月17日	0:57~4:42等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—			
2月24日	0:47~4:35	—	—	—	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—			
3月20日	9:30~10:30	—	—	(0.22未満)	—	—	—	—	—	—	—		港保健所 (0.22)	
	9:35~10:35	—	—	—	—	—	—	—	(0.22)	—	—			
5月14日	9:45~10:45	—	—	(0.22未満)	—	—	—	—	—	—	—	港保健所※10 (0.22)		
	9:40~10:40	—	—	—	—	—	—	—	(0.22未満)	—	—			
5月15日	1:35~3:56等	—	0.5より 1.2)	(0.5未満)	—	—	—	(0.5未満)	—	—	—	交通局※11 0.5		
7月15日	0:19~2:19等	—	(0.5未満)	(0.5未満)	—	—	—	—	—	—	—			

(平成28年3月4日現在)

- 註記： ※1 2月6日の測定箇所8か所は 駅長室、更衣室、仮眠室(1)、仮眠室(2)、倉庫(1)、倉庫(2)、シャワー室、救護室
 ※2 六番町石綿含有吹付け材飛散調査に係る石綿分析他業務調査時の測定結果を示す。
 ※3 負圧装置の稼働時間は、石綿取扱い作業実施記録等による。
 ※4 港保健所の測定結果は、環境科学調査センターの測定報告書による。
 ※5 アスベスト繊維数 104本/Lのうち、アモサイト15本/L、クロシドライト89本/L。(104→100)
 (67視野で繊維数が41本(繊維数が40本に達した場合、その視野は最後まで計数)アモサイト6本、クロシドライト35本)
 ※6 平成26年度から港保健所のアスベスト濃度測定の見野数を150から300に変更したため検出下限値は0.50本/L。
 ※7 風洞(給気ダクト)内のアスベスト飛散調査時の測定結果を示す。
 ※8 受注者からの申出による調査時の測定結果を示す。
 ※9 換気機械室復旧作業時の測定結果を示す。
 ※10 換気機械室復旧作業完了後(作業場内養生撤去後)の測定結果を示す。
 ※11 換気機械室復旧作業(風洞内清掃作業時の測定、送風稼働後の最終確認のための測定)の測定結果を示す。

※赤字部分：追記及び修正箇所

アスベスト飛散事例

※第2回 資料 2 3 を一部修正

	Webサイトで検索した主な事例			名古屋市環境局情報公開事例		環境省公表事例（参考）		
	東京都文京区立さしがや保育園	佐渡市両津小学校	大阪府立金岡高校	大手町建物	地下鉄六番町駅	名古屋市内の建物	川口市内の建物	西尾市内の建物
工事の種類	改修工事	大規模改修工事 (アスベスト除去)	耐震補強 及び改修工事	改修工事	アスベスト除去工 事	建物の解体	建物の解体	建物の解体
発生年度	平成11年	平成18年	平成24年	平成23年	平成25年	平成21年	平成25年	平成25年
飛散状況	工事の過程で、天井裏等に存在した吹付けアスベストを飛散させ、隣接する保育室の園児等がばく露した。	校舎1階の階段付近のアスベスト除去工事中にアスベストを含む粉じんを飛散させ、児童・教職員がばく露した。	改修工事中に、吹付けアスベストが外部に露出していた状態で作業を行い、生徒・教職員等がばく露した。	建物の6階部分のアスベスト除去工事中にアスベストが飛散した。	地下鉄構内の機械室のアスベスト除去工事中にアスベストが飛散し、駅利用者や駅員等がばく露した。	建物の解体現場において、吹付けアスベストの除去工事中にアスベストが飛散した。	建物の解体現場において、吹付けアスベストの除去工事中にアスベストが飛散した。	建物の解体現場において、煙突内部に敷設された断熱材の除去工事中にアスベストが飛散した。
飛散日数	13日間～	2日間～	26日間	—	2日間	不明	不明	不明
測定値	不明 9,930本/L (推定値の最大値)	不明 260本/L (推定値)	不明	490本/L	700本/L	1,569本/L (境界では基準値内)	26本/L (境界では基準値内)	310本/L (境界では基準値内)
測定者	—	—	—	保健所	保健所	環境省	環境省	環境省
アスベストの種類	クロシドライト クリソタイル	クリソタイル	クロシドライト クリソタイル	クロシドライト アモサイト クリソタイル	クロシドライト アモサイト	クリソタイル アモサイト	クロシドライト アモサイト	アモサイト
飛散の原因	事前調査不足	養生シートの破れ 養生テープの剥がれ	事前調査不足	集じん・排気装置の不具合 排気ダクトの破損	集じん・排気装置の不具合等	—	集じん・排気装置の不具合等	集じん・排気装置の不具合等
健康影響評価の方法	アスベストばく露量を推定しアスベスト関連疾患の発生のリスク評価を行った	アスベストばく露量を推定しアスベスト関連疾患の発生のリスク評価を行った	継続中	—	検討中	—	—	—
リスク評価値	・日本産業衛生学会 許容濃度委員会 ・WHO ・USEPA ・Hughes	・日本産業衛生学会 許容濃度委員会 ・Hughes	・WHO ・USEPA ・Hughes	—	—	—	—	—

※Webサイトで検索した主な事例並びに環境省のWebサイトでの公表事例及び名古屋市環境局の情報公開事例を一覧とした。

※環境省の事例は作業場内の敷地境界では基準値内。

(1) 対象者

	対 象
駅利用者	平成 25 年 12 月 12 日午前 8 時 30 分から 13 日午後 6 時 30 分の時間帯に六番町駅を利用した人
駅職員	平成 25 年 12 月 12 日午前 8 時 30 分から 13 日午後 6 時 30 分の時間帯に六番町駅で勤務した人
職員等	平成 25 年 12 月 12 日午前 8 時 30 分から 13 日午後 6 時 30 分の時間帯に六番町駅で監督業務等に従事した人
周辺住民	(次回以降の検討会において、意見聴取)

(2) ばく露量の推定

	時間	濃度	回数	呼吸域高さ
駅利用者	駅出入口から列車乗降口までの最大歩行距離・待ち時間により推定	シミュレーション数値	1～4回 ※12日・13日に乗車で利用したと仮定	乳幼児 0.7m 子供 1.0m 大人 1.2m 大人 1.6m
駅職員	勤務記録等から推定	シミュレーション数値	1～2回 ※勤務記録等から推定	大人 1.6m
職員等	勤務記録等から推定	シミュレーション数値	1～2回 ※勤務記録等から推定	大人 1.6m
周辺住民	(次回以降の検討会において、意見聴取)			

(3) 駅利用者の最大ばく露量行動モデル

	時間
駅利用者	1番出入口 ⇒ 北改札 ⇒ E.V. (待ち時間考慮) ⇒ 乗車位置 (最後尾) ⇒ 列車へ乗車 (待ち時間考慮)

